



カワウと人間の知恵比べ



カワウ（川鵜）
分類：ペリカン目、ウ科 体長80cm前後、体重約2kg、くちばしは黄色、黒い木です。くちばしを組んで巣を作ります。繁殖地が多い。

竹生島でなぜ増える？
増える原因と考えられるのは
①陸地から隔離された島である
②エサとなる魚がすぐにとれる
③巣づくりのための木がある。
などで、竹生島はカワウがコロニーをつくりやすい環境が整っているようです。

カワウ発見！みるみる増加！
昭和57年に竹生島でカワウの巣の存在が確認されて以来、平成2年に約400巣、平成8年には約1,500も巣が確認され、カワウ自体の数も年々増加し、滋賀県の調査によると、昨年秋には、なんと約2万6千羽も竹生島にいることがわかりました。

一方、竹生島では多くの文化財やすばらしい景観が、カワウという水鳥によって脅かされています。ここでは、島に大きな変化を与えているカワウについてご紹介します。

また、カワウの繁殖期（4～5月）が、やなやエリでの漁獲期と重なり、1日に約300～400gの魚を食べると言われる食欲旺盛なカワウがアユなどの魚を好んで食べるため、その数の増加に伴い、漁業被害が叫ばれるようになってきました。



カワウの影響で枯れた竹生島の木々（北側の斜面）

緑の木と湖の魚が大ピンチ！
カワウが巣をつくるために、枝や葉を食いちぎったり、その糞により木の生育ができなかったりという理由で、島の木の約8割が枯れかかっています。

また、そのため、山肌があらわになり、土砂崩れなどが起きやすくなっています。
さらには、琵琶湖八景の一つに数えられる景勝地ですが、今では「深緑の竹生島」の「深緑」という景観はその面影を失っています。

【追いつけ作戦】
木にロープをかけてゆらしたり、鉄板を叩いて音を出したりして、追い払うがやめるとすぐに元通り。
【石けん液散布作戦】
石けん液を卵にかけ、ふ化を押しやる作戦だが、なかなかうまくかからないのが玉にきず。

【爆音器作戦】
いろいろな音のもので実施したが、効果は最初だけですぐ慣れた。
【植生復元作戦】
苗木を植えたので、大きくなるまで長い年月がかかる。
【ロープ張り作戦】
羽にものが触れるのを嫌う習性があるので、ロープを張りめぐらした強度がないためよく切れた。

【目玉風船＆金銀テープ作戦】
畑などで使われているものを設置したが、効果は限定的であった。
【果落とし作戦】
高いところにあるため、なかなか落とせず、落としてもすぐ作る。

【銃による駆除作戦】
漁業被害対策として始められたもので、現在も実施されている。
【ネット張り作戦】
今年は新たに、樹木の上から縄で編んだネットをかけ、ひなの巣立ちを押さえるとともに、これ以上樹木に被害を及ぼさず、他に移動をさせる作戦を実施中です。



今後の展望は
ある調査で、竹生島のカワウが栃木県や広島県で確認されたことから、カワウは広範囲に季節移動する鳥だということが確認できました。そのようなことから、今年の5月には、環境省の協力のもと、中部近畿の15府県が、カワウ対策のために、「中部近畿カワウ広域協議会」を発足させました。
今後は、その協議会を中心に、新たな取組みや広域的な取組みが展開されることにも期待をしたいと思います。

今年は一網打尽！？
左は、今年の6月17日に作業を行ったときの写真です。

島の文化財を守るために 竹生島奉賛会

島の文化財を守るために、昭和30年に発足した竹生島奉賛会。当時、防災設備が皆無だったことから、その設備を主目的に発足しました。以来、防火水槽や消火栓、火災報知機といった防災設備のほか、電気や電話、水道設備などの整備も行われています。また、島の美化や案内標識の整備、パンフレット作成など、参拝者の利便性を向上する事業も行っておられます。

竹生島奉賛会 事務局長
中辻藤男さん（下八木町）



「竹生島は観光地であると同時に、信仰の島、神仏の島でもあります。竹生島がそう言われるのは、文化財が数多くあるからこそだと思います。島という不便な環境ではありますが、文化財を維持していけるよう、これからも努めていきたいと思っています」

島の一日は、船での「通勤」から始まります。島には、宮司さんや住職さんをはじめ、拝観受付や納経所、売店で働く人や、建物や草木の掃除・手入れをする人など、昼間には10～20人ほどの人がいらっしやいます。
島は通電されておらず、水道もないため、食べ物や飲み水など生活に必要なものは、毎朝、船で運ばれています。島の環境

島での生活は？



船が大切な通勤手段

を整えようと、竹生島奉賛会が中心となって自家発電設備や水道設備を整備されていますが、午後9時以降は、節電のため、消灯されています。

竹生島に行こう

長浜市民クルーズ

文化財が数多く残る竹生島をもっと知っていただくため、長浜市民限定の貸し切り船を運航、乗船料、拝観料を半額にする夏休み特別企画です。観光ボランティアガイドのみなさんも同行し、ご案内します。

【対象】 長浜市民（住所を証明できるものを当日持参ください）

【とき】 8月20日(日)

【運行時間】 午前便(午前10時30分)
午後便(午後1時30分)の計2回

【出航】 長浜港

【募集人数】 200人(午前・午後各100人・先着電話予約)

【料金】 乗船料 大人 2,980円→1,500円
小学生 1,500円→750円
拝観料 大人 400円→200円
小学生 300円→150円

☆特別優待キャンペーン☆

上記以外にも8月は特別料金で竹生島クルーズに優待します。

《対象》 長浜市民（住所を証明できるものを当日持参ください） 《募集人数》 20人(先着電話予約)

《運行日時》 8月1日(火)～31日(木)の毎便

《料金》 乗船料、拝観料とも上記金額と同じ

主催 琵琶湖汽船(株)長浜支社、長浜観光協会、びわ観光協会、宝厳寺、都久夫須麻神社

お問合せ、ご予約は、琵琶湖汽船(株)長浜支社(☎03390)へ。

